

パソコンなどで見たりきいたりできる人は、取り組んでみましょう。

【音楽】

＜勉強すること＞

◆歌詞の表す様子を思いうかべながら、『さくら さくら』を歌いましょう。
(教科書8～9ページ)

- (1) 8ページの歌詞を声に出して読みましょう。難しい言葉は調べたり、9ページの解説を読んだりして、歌詞の言葉が表す桜の花の様子を思いうかべましょう。

＜ヒント：桜の花の色は何色かな？何本くらい木があるかな？など＞

- (2) 思いうかべた桜の様子を想像しながら、『さくら さくら』を聴いたり、口ずさんだりしましょう。



- (3) 『さくら さくら』を何度も聴いたり、口ずさんだりして、この曲がどんな感じの曲かを言葉や文章で表してみましょう。

※例：元気よく、うきうきする感じの曲
明るくはなやかな感じの曲 など

- (4) 『さくら さくら』のメロディーは、「こと」という楽器で演奏されています。『こと独奏による主題と6つの変奏「さくら」』を聴いて、『さくら さくら』と比べてみましょう。

※教科書57ページを見てみましょう。



- (5) 教科書等の桜の写真を眺めながら、この曲にぴったり合う歌声を考えて、歌ってみましょう。

※いろいろな歌声の例：

元気で明るい歌声 やさしく、きれいな歌声
自分の1番元気な歌声 など

＜保護者による関わり方のポイント＞ ※可能な範囲でお願いします。

- ・『さくら さくら』は、歌詞の表す情景を思い浮かべながら歌うことを大切にしています。ぜひ、一緒に桜の花の写真や動画を見ながら、楽しんで一緒に歌ってみてください。
- ・『さくら さくら』は、教科書P56～59の「日本の楽器に親しみましょう」につながる学習です。日本らしさを感じる音階や楽器の音色に親しめるように、何度も歌ったり、聴いたりしてください。